



衆議院議員（福岡 10 区選出）

| 2024. 8 きいたかしレポート |

きいたかし

〒802-0071 北九州市小倉北区東篠崎 1-4-1-201 TEL.093-941-7767 FAX.093-941-5535
（ウェブサイト）http://www.kiitaka.net （メールアドレス）smile@kiitaka.net

☞ 地元北九州市を代表して、党政務調査会長代理、衆議院国土交通委員会筆頭理事として活動

交通・物流基盤整備は北九州活性化のバネ



皆さんこんにちは。
衆議院議員のきいたかしです。
いつも応援ありがとうございます。

交通・物流インフラ整備を北九州地域の経済活性化のバネとする、その実現に向けて皆様の声を基に、これまで取り組んできました。

まず北九州空港の利活用促進。現在は昨年12月から始まった滑走路延長の工事が着々と進んでいます。供用開始予定は3年後の令和9年8月31日。24時間利用可能な北九州空港を利用したいという仕事の引き合いが欧米を中心に多く寄せられており、航空貨物需要の取り込みが期待されます。周辺でも物流基地の造成や機能強化が進んでいます。企業向けの用地確保が課題ですが、法改正によって農地からの用途変更について都道府県知事が配慮をすることになりました。福岡県知事や北九州市長も物流機能強化に向けた土地の用途変更について積極的に取り組む旨を表明しており、今後の産業用地確保に弾みがつくと考えます。

下関北九州道路についても西港等へのインターチェンジの設置、北九州都市高速道路への接続など、計画の詳細が明らかになり、関係者への説明会等が進んでいます。老朽化が著しい関門トンネル及び関門橋の代替手段として、九州と本州を結ぶ大動脈の一翼を担うことが強く期待されます。課題としては、山口県側の接続の工夫があります。中国自動車道への接続が計画上未確立であり、今後の議論が必要です。新規事業化に向けて超党派で国に働きかけを続けます。

北九州都市高速道路においても「戸畑一光」間の工事が進行中で、完成すれば北九州都市高速道路の「環状化」が実現し、利便性がさらに増します。

国道3号黒崎バイパスも完成まであと一歩です。黒崎エリアで北側からJR鹿児島本線の線路を大きく越えて南側に黒崎西ランプを設置する難しい工事が速やかな完成を目指して進んでいます。相当な渋滞緩和が期待されます。

こうした交通・物流インフラ整備を足掛かりに、企業や投資の呼び込みを含めた北九州地域の経済活性化の大チャンスが来たととらえて、引き続き超党派で努力します。

衆議院議員 きいたかし

きいたかし LINE 公式アカウント

友だち募集中



☞ 地元北九州市を代表して、港湾・海運・物流政策をリード | 2024. 8 きいたかしレポート |

老朽化する港湾施設を改善すべき



太刀浦コンテナターミナルで働く皆様からの「コンテナターミナルの老朽化が進んでおり、働く仲間の安全が確保できるか心配だ」とのご意見をもとに現地視察を行いました。現地の実情や働く皆様からのご意見を踏まえて、衆議院国土交通委員会で、きいたかしの視察結果と国土交通省からの説明を比較すると大きな隔たりがあることを指摘して、国土交通大臣に対応の改善を促しました。

太刀浦第一ターミナルでは、コンテナを運ぶストラドルキャリアの運搬路のアスファルトが大きく削れて、穴まで空いている状態でした。高い位置にある運転席からは、雨が降って水たまりになると穴の存在も見分けるのが困難な状況です。国土交通省の説明では令和4年度、5年度に補修済みとのことでしたが、実際には、ごく一部の補修や仮アスファルトでの部分的な補修にとどまっていた。日常の使用で運搬路は更に壊れて

周辺に砂利が散乱していました。余りに痛みがひどい箇所は民間事業者の職員が自ら仮補修を行って急場をしのいでいるとのことでした。

太刀浦第二ターミナルでは、コンテナを運ぶストラドルキャリアの通る部分が大きく削れて大きな溝になっていました。万が一、運転席が高い位置にあるキャリアのタイヤがはまると、キャリアが横転するなどの大事故につながりかねない状況でした。国土交通省からは、来年度予算で対応予定と聞いていました。

港湾の現場で見た状況と事前の国土交通省からの説明は大きな隔たりがありました。

現地調査で明らかになったのは、実際には2年前から危険な状況への対応を現場から訴えていたにもかかわらず、2年間対応なしだったという実情です。国土交通省による港湾施設の老朽化の調査は不十分であったと考えています。

きいたかしの質疑に対して国土交通大臣からは、港湾管理者が北九州市との答弁でしたが、国の管轄部分だけとっても老朽化は著しく対応不十分な事の認識が薄い状況でした。きいたかしから提案した「港湾施設の老朽化を把握するための全国調査」についても大臣答弁は後ろ向きでした。

海上輸送、港湾運送の要であるコンテナターミナル、何より労働者の安全第一での事前対策が重要です。しかも、各地の港湾老朽化の実情に鑑みれば、これは一事が万事と受け止めるべき問題だと考えます。仲間の北九州市議と連携して北九州市の早急な対応を促し、引き続き港湾施設の老朽化対策の改善を国に促していきます。

2024 年「きいたかし国政報告会」を開催します

日時 8/30(金) 18:30 開会 18:00 開場

会場 JR九州ステーションホテル小倉 5階 飛翔の間

入場
無料

※この催物は政治資金規正法第8条の2に規定する政治資金パーティーではありません。

お忙しいところ恐縮でございますが、是非ともご参加いただきますようお願い申し上げます。



衆議院議員 きいたかし（城井 崇）のプロフィール

地元北九州で東奔西走。3子のパパとしても子育て奮闘中。

1973年（昭和48年）北九州市門司区生まれ。田野浦小、早稲中、門司高、北九州予備校（2浪）、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書を経て、03年衆院選で初当選。09、17、21年衆院選で当選（現在4期目）。文部科学大臣政務官、予算委員長、文部科学委員等を歴任。現在、衆議院国土交通委員会筆頭理事、地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会委員、憲法審査会委員。党政務調査会長代理、広報本部副部長、子ども・若者応援本部副部長、政策課題発掘チームリーダー、福岡県連代表、福岡県第10区総支部長。得意分野：教育、科学技術、安全保障、行政改革。好きな食べ物：ラーメン、焼肉、焼きカレー。

